

おぐら山荘便り

2020年9月1日(火)発行

大分の郷土料理に挑戦 ひ焼きを作りました!!



おぐら山荘では、季節を楽しむイベントを企画してご利用者の皆様と一緒に楽しんでいます。今号は、大分の郷土料理「ひ焼き」を作って食べたこと、季節の壁飾りの話題などをお届けします。

今月のおやつ作りは、大分の郷土料理の『ひ焼き』を作りました。地域によって『じり焼

き』『へこ焼き』『たらたら焼き』など呼び名がいろいろ違いがあるようですが、基本的には、小麦粉に水・塩・砂糖などを加えて、鉄板で焼いたクレープのような素朴なお菓子です。焼いた生地の中に芋餡を入れたり、黒蜜などを巻いたりなどいろいろとアレンジされ、



▲タネを平たく伸ばして鉄板の上で焼いていきます。

道の駅などで販売されているのをよく見かけます。今回作ったものは、何もトッピングせず、生地の味を楽しんでもらいました。

小麦粉や水などの分量を量り、ボールに入れ混ぜ合わせます。こぼしくらいの大きさになるように分け、鉄板の上で焼いてきます。

ご利用者様に『ひ焼き』のことを聞いてみると、大分出身の方でも知らない方もいらっしゃいました。アレンジされたもので覚えていらっしゃった

り、知っている呼び名が違うため思い当たらなかったのかもかもしれませんね。

作った『ひ焼き』は、少し硬く仕上がってしまいました。が、味は良かったようです。次回作る時は、アレンジされたものにチャレンジしたいと思います。



▲だんだんと香ばしい匂いが、デイサービスフロアに広がってきました(*´▽`*)



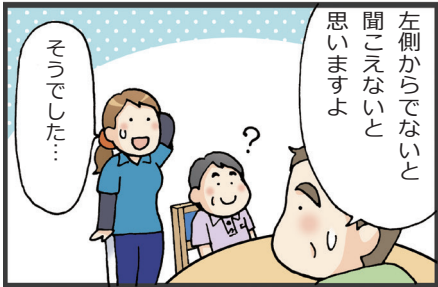
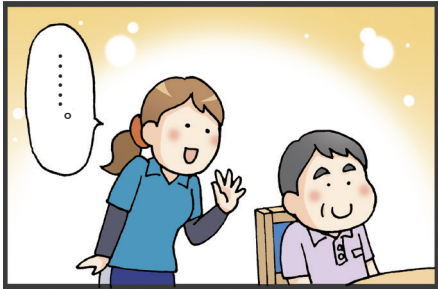
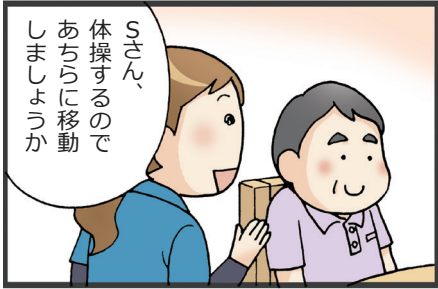
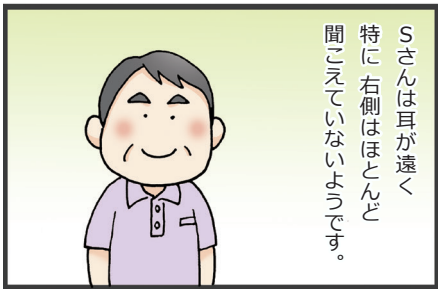
▲小麦粉をボウルにあけて・・・今回はトッピングなしで小麦の味を楽しみます。



▲砂糖と塩を少々を加えて、水で練ります。



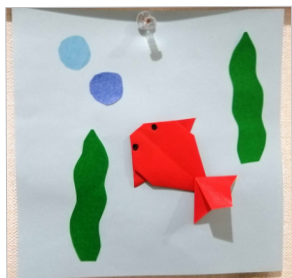
エー美の
A 介護の道を
きわめる!?
第21回



▲火花はちぎった色紙で表現しました。

夜空に咲いた大輪の花
夏の壁飾り出来ました

今月の壁画は、夏を連想するものを作成しました。
火花は、黒くした模造紙に手でちぎった色紙を貼りこんでいき、広告や新聞紙を棒状にして作ったものを貼りました。色紙は火花が開いたときの火花を表現しました。



▲部屋の入口も夏の風物詩で飾りました。



おぐらの
願い事

もうひとつ、アサガオの折り紙をすだれに飾り、旧暦の七夕に合わせて、願い事を飾ることにしました。今年はお祭りなどが自粛され、例年とは違う夏を過ごすこと

とになりました。ご利用者様に願い事を聞くと、健康に関するものが多かったようです。皆様の願いが届くといいですね。
部屋前の飾りは、金魚

やうちわなどを折り紙で制作。何種類も作成して各部屋の入口に飾りました。今年、猛暑が続く暑い日が多かったのですが、おぐら山荘の中で『涼』を感じてもらえたらと思います。



おぐら山荘
TEL 0977-85-8307
〒874-0840
大分県別府市大字鶴見 1561 番の2
URL <http://ogura.link/>